

西洋中世(ラテン語)・近世フランス古文書学ワークショップ

西洋の手稿記録(4世紀から18世紀)を読む

Lire les Manuscrits occidentaux, du IV^e au XVIII^e siècle

来る2月20日から22日にかけての3日間(午後)名古屋大学文学研究科において、ジャン＝ルー・ルメートル博士とニコル・ルメートル教授を迎えて、西洋中世ならびにフランス近世の古文書学のワークショップを開催致します。ジャン＝ルー・ルメートル博士がラテン語古文書について、書体の変遷や短縮形(abbréviation)を解説し、ニコル・ルメートル教授が「印刷バタルド書体から個人の草書体へ」と題して論じます。お二人とも史料をふんだんにまじえて、連続講義とワークショップにのぞまれる予定です。なお講義や討論は基本的にフランス語で行い、通訳はありません。

le 20 fév

- 13:30-15:30 Jean-Loup Lemaître, *De la Capitale à la caroline*
16:00-18:00 Nicole Lemaître, *De la Bâtarde imprimée à la cursive personnelle (1)*

le 21 fév

- 13:30-15:30 Jean-Loup Lemaître, *De la caroline à l'humanistique*
16:00-18:00 Nicole Lemaître, *De la Bâtarde imprimée à la cursive personnelle (2)*

le 22 fév

- 13:30-15:30 Jean-Loup Lemaître, *Lemaître, Les documents d'archives*
16:00-18:00 Nicole Lemaître, *De la Bâtarde imprimée à la cursive personnelle (3)*

2012年2月20日(月) - 22日(水)
名古屋大学文学部1F 大会議室

主催 ● 名古屋大学大学院文学研究科
使用言語 ● フランス語
連絡先 ● グローバルCOE事務局 email: bureau@gcoe.lit.nagoya-u.ac.jp tel: 052-747-6461



【交通案内】地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車 ①番出口

【旅費援助】

課程博士論文を準備中の大学院後期課程の学生で、是非このワークショップに参加したいという意欲をお持ちの方に、定員5名で旅費と滞在費（大学内宿舎）の支給を行います。支給にあたっては下記の要領で公募を行います。

提出書類：履歴書（市販）、博士論文の研究計画をフランス語で1000ワード程度。
厳正な審査の上、結果を履歴書記載の住所宛に通知いたします。

応募締切：2012年1月25日④必着（返信用封筒を必ず同封して下さい。）

書類提出：名古屋大学大学院文学研究科 GCOE 事務室宛

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

*応募書類は返却致しません。

詳しくは Web (www.gcoe.lit.nagoya-u.ac.jp) でご確認下さい。

【参加申込(事前登録のお願い)】

自費による出席は自由ですので、学部生、修士課程学生、一般の方など資格に関わりなくふるってご参加下さい。なお運営の都合上、メールにて事前登録をお願いいたします。

メールの宛先は bureau@gcoe.lit.nagoya-u.ac.jp です。締切は2月10日です。

西洋中世(ラテン語)・近世フランス古文書学ワークショップ

西洋の手稿記録(4世紀から18世紀)を読む

講師プロフィール

Jean-Loup Lemaître

ジャン＝ルー・ルメートル博士は、中世西洋の過去帳系統史料についての第一人者であり、若干35歳で完成させた2巻の大部な *Répertoire des documents nécrologiques français* で国際的な評価を与えられています。ソルボンヌに付設されている高等研究院第四部門で、ジャック・デュボワ師の講座を継承し、教授 (directeur d'étude) として研究指導と講義にあたり、昨年定年で退職されました。

Nicole Lemaître

ニコル・ルメートル教授は、パリ第一大学教授として活躍し、多くの著作を著しています。専門は近世フランス宗教社会史で、特に農村社会の深部まで下りて、未公開の史料を用いての農民の日常性を丹念に再構成する、ミクロストリアを彷彿とさせる分析と記述は学界で高く評価されています。